

2016年1月12日

各位

株式会社パム
オリックス自動車株式会社

「レンタカーに乗って、サンゴを増やそう」キャンペーン、結果報告 サンゴの保全活動への寄付金が確定 ～沖縄県読谷村の海に、108本のサンゴを移植～

株式会社パム（本社：沖縄県那覇市、社長：長嶺 由成、以下「パム」）とオリックス自動車株式会社（本社：東京都港区、社長：亀井 克信、以下「オリックス自動車」）は、2015年7月1日から9月30日の間、売上の一部をサンゴの保全活動へ寄付する「レンタカーに乗って、サンゴを増やそう」キャンペーンを実施しました。このたび、寄付金額が確定しましたのでご報告します。

今回の寄付金は、キャンペーン期間中に、パムが運営する沖縄旅行の予約サイト「たびらい沖縄」を通じて、「オリックスレンタカー」のハイブリッドカーをご利用いただいた料金総額の1%相当額を、両社が共同で拠出するものです。同寄付金は、オリックスグループが取り組んでいる「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト『SANGO ORIX』」を通じて、有限会社海の種（沖縄県読谷村）とともに、サンゴの移植活動に役立てられます。

なお、本取り組みは今年で3回目となり、沖縄のサンゴの森を広げています。

<寄付金贈呈の様子>



左から、オリックス自動車 レンタカー営業本部営業第三部長 竹松 康之、有限会社海の種 代表取締役 金城 浩二様、パム たびらい事業部レンタカーチーム 朴 珉鎬

- 寄付金：469,000円（※昨年379,866円）
- 寄付先：『SANGO ORIX』を通じて、有限会社海の種（沖縄県読谷村）へ
- 寄付日：12月25日（金）
- 用途：沖縄県読谷村海域への養殖サンゴ134本の移植活動（※昨年108本）

パムとオリックス自動車は、今後もサンゴの移植活動をはじめ、環境負荷低減に資するさまざまな社会貢献活動をサポートしてまいります。

以上

< 昨年の寄付金で移植したサンゴの様子 >

昨年は、沖縄県読谷村海域へ、養殖サンゴ 108 本を移植しました。



※「沖縄ツアーランド」は「たびらい沖縄」の旧名称です。

< 沖縄サンゴ礁再生プロジェクト『SANGO ORIX』について >

オリックスグループでは、サンゴ礁が持つ高い生物多様性の保持能力を守り、美しい海を次の世代に残すため、国際サンゴ礁年であった 2008 年にいち早く「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト『SANGO ORIX』」を開始し、これまでに 9,300 本のサンゴを移植しました。現在も沖縄県の読谷村海域などでサンゴの移植活動を行っており、累計で 10,000 本の移植を予定しています。

< 株式会社パムについて >

株式会社パムは、旅行・レジャーに特化したメディアの創造・運営を通じて、地域への集客をサポートする企業です。現地から発信する国内旅行予約サイト「たびらい」、海外へ日本各地の魅力を伝える「Tabirai Japan」、沖縄観光情報サイト&情報誌「たびカタログ」の運営・発行、沖縄県民のお出かけを応援するサイト「ちゅらとく」などを運営しています。

U R L : <http://www.pam-info.co.jp/>

※このリリースは、沖縄県政記者クラブ、自動車産業記者会に配付しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パム 広報企画

妻夫木・下地

TEL : 098-860-9504

オリックス株式会社 グループ広報部

矢崎・堀井

TEL : 03-3435-3167